

■ 教育目的

医療系をはじめとする関連分野において、奉仕活動やボランティア活動に参加する体験を通して、人を思いやる気持ちや人のために尽くす心など、医療人に求められている人格形成を図る。また、体験学習に主体的に取り組むなかで、行動力やコミュニケーション能力が向上することについても2次的な学習効果として期待する。さらには、1年次の早期体験学習を通して得られた医療人としての心構えや各自の動機をより明確にするとともに、上級学年で実施される実務実習や長期コース実習への導入を円滑にすることを目的とする。

■ 学習到達目標

一般目標

現場での具体的な体験をすることにより、高齢者や障がい者の立場にも立ちながら、机上の学習では理解しがたい、主として医療をとりまく諸問題の認識を深める。

到達目標

- ①医療スタッフの業務を見聞き、その重要性について具体的な体験に基づいて、自分の意見をまとめ発表する。
- ②保健衛生や健康に関わる施設の業務を見聞き、社会に対して果たしている役割を具体的な体験に基づいて討議する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：実習先となる施設のホームページを閲覧し、場所や交通経路等を確認する。

復習：毎日の実習内容を記録する。

■ 授業内容

1. 献血ルームコース、2. 介護福祉コース、3. 保健所コース、4. 病院コース、5. 医療系NPOコースの5コースのどれか1つを選び体験する。受け入れ先の施設により体験する内容が異なるが、期間的にはどれも1週間前後となる。2年生の夏休みもしくは春休み期間中を原則とする。

■ 授業分担者

東 恭一郎（早期体験学習委員会・体験学習部門長）、川北 晃司（早期体験学習委員会・見学学習部門長）、他

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：個別に連絡して意見・指導する場合がある。

成績評価方法：出席状況（60%）、書類提出期限遵守やオリエンテーションでの態度（20%）、施設からの所見（10%）、および報告書と感想文（10%）で総合評価する。